

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs (エスディーゼズ) という言葉を知っていますか？

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称で、「持続可能な開発目標」という意味です。2015年の国連サミットで採択された、世界の様々な問題を2030年までに解決するための国際目標で、17のゴール(目標)と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

SDGsは、経済・社会・環境の3つの側面がバランスよく達成された持続可能な世界を目指します。

世界を変える17の目標を見てみよう！

- | | | | |
|------------------------------------|---|-------------------------------|---|
| <p>1 貧困をなくそう</p> | <p>1. 貧困をなくそう
あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる</p> | <p>2 飢餓をゼロに</p> | <p>2. 飢餓をゼロに
飢餓を終わらせ、食料安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p> |
| <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> | <p>3. すべての人に健康と福祉を
あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</p> | <p>4 質の高い教育をみんなに</p> | <p>4. 質の高い教育をみんなに
すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する</p> |
| <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> | <p>5. ジェンダー平等を実現しよう
ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う</p> | <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> | <p>6. 安全な水とトイレを世界中に
すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する</p> |
| <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> | <p>7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p> | <p>8 働きがいも経済成長も</p> | <p>8. 働きがいも経済成長も
包摂的かつ持続可能な経済成長およびすべての人々の安全かつ生産的な雇用と、働きがいのある人間らしい雇用を促進する</p> |
| <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> | <p>9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進およびイノベーションの促進を図る</p> | <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> | <p>10. 人や国の不平等をなくそう
各国内および各国間の不平等を是正する</p> |
| <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> | <p>11. 住み続けられるまちづくりを
包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市および人間居住を実現する</p> | <p>12 つくる責任 つかう責任</p> | <p>12. つくる責任 つかう責任
持続可能な生産消費形態を確保する</p> |



13. 気候変動に具体的な対策を
気候変動およびその影響を軽減するための緊急対策を講じる



15. 陸の豊かさを守ろう
陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復および生物多様性の損失を阻止する



17. パートナーシップで目標を達成しよう
持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



14. 海の豊かさを守ろう
持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



16. 平和と公正をすべての人に
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

出典：外務省ホームページ (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>)

私たちにできることは？ ～小さなことから始めよう～

SDGsには、貧困や飢餓といった問題から働き方や経済成長、気候変動にいたるまで、21世紀の世界が抱える課題が挙げられており、「発展途上国のためのもの」「世界的な目標で自分たちとは関係ない」と思われるかもしれませんが、実はSDGsは私たちにも関係している問題なのです。持続可能な社会をつくるためにはどんなことができるのか、私たち一人ひとりが「行動すること」「行動を変えること」が大切なのです。

毎日の暮らしの中で、できることはたくさん！

例えば・・・

「食料の地産地消」

食材は、益田で生産されたものを買うようにしているよ！

こんなことも・・・

「健康診断を受ける」

「公共交通機関を使う」

他にも・・・

「食べ残しをしない」
「地元で買い物をする」
「地域のイベントに参加する」 など

毎日の買い物が世界を変える！？

エシカル消費（倫理的消費）とは？

人と社会、地域、環境に配慮して作られたモノやサービスを「選んで」消費をすることです。

例えば、エコマーク商品、リサイクル製品、認証ラベルのある商品といった「環境への配慮」、フェアトレード商品、寄付付きの商品といった「社会への配慮」、障がい者支援につながる商品といった「人への配慮」に加え、地産地消や被災地産品の応援消費なども含まれると考えられています。

主に、目標12「つくる責任 つかう責任」に関連する取組です。

持続可能なまちづくりとSDGs ～広がるSDGsへの取組～

SDGsは、私たちの地域や生活、そして将来に置き換えて考えることができます。地域の環境や経済、社会のシステムがうまく働き続ける豊かで明るい未来のために、今ある地域の問題をみんなで共有し、何が必要かをみんなで考え、実践していくことがSDGsの達成につながっていくのです。

また、企業にとって、SDGsに取組むことは、社会に役立てるのはもちろん、未来に向けた新しいビジネスチャンスでもあります。

自治体がSDGsに取組むことの意義は？

- 「世界共通の目標」であるSDGsに取組むことで、様々な国や地域の取組を共有し、理解することができます。
- SDGsを共通言語として、いろいろな分野や関係者との新たな交流や連携の機会を増やすことが期待できます。
- SDGsという世界共通のものさしで地域を捉えることで地域の強みや弱みを知り、これまでの取組を見直し、より良いものへ改善する機会になります。
- 成果を世界へ発信することで、さらなる取組へつながっていきます。

益田市も、今年度からSDGsの視点でいろいろな事業に取組んでいくよ！